

**原子力システム研究開発事業
事後評価総合所見**

研究課題名：MA入りPu金属燃料高速炉サイクルによる革新的核廃棄物燃焼システムの開発	
研究代表者（研究機関名）：有江 和夫（東芝エネルギーシステムズ）	
再委託先研究責任者（研究機関名）：飯塚 政利（電力中央研究所）	
再委託先研究責任者（研究機関名）：有田 裕二（福井大学）	
再委託先研究責任者（研究機関名）：宇根崎 博信（京都大学）	
研究期間及び研究費：平成26年度～平成29年度（4年計画） 265百万円	
項目	要 約
1. 研究の概要	<p>ウラン（U）を含まないマイナーアクチニド（MA）入りプロトニウム（Pu）燃料（TRU燃料）に必要な施設規模が少なくできる、TRU燃焼を用いた高速炉サイクルにて、高い効率でTRUを燃焼できる新しい「核廃棄物燃焼システム」の工学的見通しを得ること目的とし、以下の研究開発を行う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 燃料開発 2) 再処理開発 3) 炉心開発 4) 「核廃棄物燃焼システム」の検討
2. 総合評価	<p style="text-align: center;">A</p> <p>TRU燃料により、TRU燃焼に必要な施設規模を少なくする、新しい「核廃棄物燃焼システム」について、本研究が実現の一助になるものと期待する。</p> <ol style="list-style-type: none"> S) 極めて優れた成果があげられている A) 優れた成果があげられている B) 一部を除き、相応の成果があげられている C) 部分的な成果に留まっている D) 成果がほとんどあげられていない